

世界初のゼロカーボンシャンプーO'right本格展開を機に、ヘアサロンから世界のゼロカーボンを目指す

ヘアケアメーカー b-ex 「グリーンプロジェクト」発足

カーボン排出量削減に向けてヘアサロンが取り組むべき24の項目を設定・サポート
2025年までに5000店舗以上の賛同を目標に活動

株式会社b-ex（本社：東京都世田谷区・代表取締役社長：福井 敏浩）は、美容師と一般ユーザーとともによりよい未来のため、ヘアサロンから世界のゼロカーボンを目指す「グリーンプロジェクト」を発足いたしました。

本プロジェクトでは、世界初のゼロカーボンシャンプーO'rightのヘアサロンへの本格展開をきっかけに、カーボン排出量削減に向けて取り組むべき項目を明確化し、各項目の推進に向けヘアサロンをサポートします。

2025年には5,000店舗以上のヘアサロンにご賛同いただけることを目標としています。

【グリーンプロジェクト 公式ページ】 <https://oright-jp.com/green-project/>

■ヘアサロン業界における環境問題に対する意識と課題

弊社が実施したヘアサロン向けの環境意識に関する調査結果^{*1}によると、「普段、環境問題について意識している」と答えた美容師が81.5%と多数であったのに対し、サロンワークの中では約4割を超える美容師が何もアクションを起こしていないことがわかりました。

行動していない主な理由は「何をしたらいいよいかわからない」が54.4%、「業界的にケミカルな製品が多く難しい」が29.4%との回答。その結果から、多くの美容師が環境問題を意識しているものの、ヘアカラー剤をはじめケミカルな製品の取り扱いが多いため、自らの矛盾を感じ、後ろ向きになってしまうという課題を抱えていることがわかりました。

^{*1} b-ex「環境意識に関する調査」2022年1月（10～60代 美容師 200名）

■グリーンプロジェクト発足の背景

当社は、1975年の創業以来、顧客中心の製品開発を進め、お客様に新しい美の体験をお届けすることを大切にまいりました。

気候変動による影響が世界中で顕在化する中、今後も持続的にお客様に美の体験をお届けするため、昨年資本業務提携したO'rightのヘアサロンへの展開を機に、グリーンプロジェクトを発足。ヘアサロンを起点にゼロカーボン社会の実現に向け、美容業全体をリードし、邁進してまいります。



■グリーンプロジェクトの概要と展望

「グリーンプロジェクト」は、サステナブルな製品であるO'rightブランドの展開と共に、カーボン排出量削減を目的としたヘアサロンが今後取り組むべき24の項目を「グリーンスコア」として定め、地球にやさしいサロンづくりを行っていくものです。

初年度である2022年は、サロンでの取り組みの現状を「グリーンスコア」を用いて、見える化し、少しでも多くのサロンに最初の一步を踏み出すきっかけになるように進めていきます。こうして、一步踏み出した先の制度として、グリーンスコアを毎年アップデートさせていながら、サロンで取り組めるグリーン活動をより進化させ、ゼロカーボンからカーボンネガティブにまで、進めていけるように制度構築していきたいと考えています。

また、率先して共にプロジェクトに取り組んでいただく「グリーンパートナーサロン」を中心に、「グリーンセミナー」など様々なグリーン活動を行い、ヘアサロンを起点にエンドユーザーまでグリーン革命の浸透を図ります。

■ グリーンスコアの内容

E	E1	グリーン購買	サロンで使用する製品に、「グリーン制度禁止化学物質リスト」の有害物質を含んでいないか
	E2	省エネ・水の削減	エネルギー使用に関する配慮をしているか 水使用に関する配慮をしているか
	E3	環境配慮	燃えるごみ・プラスチックごみ・ビン・缶を分別してゴミの廃棄を行っているか 環境に優しい製品をサロンで使用しているか CO2削減への具体的な取り組みを進めているか レジ袋などのお持ち帰り用バッグを提供していないか ペーパーレスに対する取り組みを進めているか
	E4	循環型経済	カラー剤のアルミチューブのリサイクルを行っているか
	E5	公共衛生	感染症予防に関する取り組みを行っているか
S	S1	教育	新入スタッフへ適切な研修機会が用意されているか 次世代を担う人材に職業訓練などの機会を提供しているか サステナビリティに関する教育機会を提供しているか
	S2	ジェンダー平等	消費者に対し、製品やサービスの情報を適切に公開しているか 男女の労働価値が平等となるような公平な報酬体制を整備しているか
	S3	健康・福祉	全ての従業員とその家族に対して、保健医療サービスを提供しているか
	S4	技術革新	ヘッドネーションに協力しているか DXに関わる各種サービスを活用しているか ワークライフバランスを実現できる労働時間に配慮している
	S5	労働環境	多様な働き方を推進しているか 有給制度が整備されており、活用されているか ハラスメントに対する研修機会・対策を整備しているか メンタルヘルスケアに関する措置を受けられる環境が整っているか
G	G1	ガバナンス	お客様の個人情報は適切に管理されているか

■ グリーンパートナーサロンより



FILMS 代表 若林紀元さん

FILMSでは創業時よりCSR、環境問題への取り組みを推進してきました。従業員にはゴミの出ないお弁当、MY箸、MYバッグ、月に一度のヴィーガン弁当を支給するなど楽しみながらの取り組みを。サロンではカラーチューブを車椅子にリサイクル、古着を集めてワクチンに替える取り組み、店舗地域での清掃などに取り組んでおります。

今回b-exさんより「グリーンプロジェクト」のお話を伺い、環境問題への取り組みを業界に広げていきたいとの想いを聞き、共感し賛同いたしました。昨今の厳しい情勢の中、サロン運営が苦しい状態が続いています。ですがグリーンプロジェクトを通じて経済と環境の調和を重視し、両立するサロンのロールモデルを目指し、未来に光あるより良い業界に貢献していきます。



OASE 取締役 溝口健二さん

これまでにボランティアカットへの参加や、女性スタッフが結婚・出産した後も以前と同じように活躍できる職場環境づくりに努めてまいりました。スタッフへの食事補助や練習で使うカットウィッグ代の補助などもしています。

お客様と取り組むことができるSDGs商材を探していた時に【O'right】をご紹介いただきました。特にツリーインザボトルは地球環境にやさしいだけでなく、使用した後、種を蒔き木を育てるというその先のストーリーをお客様と共に築いていけることに賛同し導入を決めました。

今後、ただSDGsに頑なに縛られるのではなく、「毎日の心地よい体験が地球を大切にすることに繋がる…」お客様とよりよい関係性創りができたらと思います。

■ b - e x について

ヘアコスメブランド「Loretta(ロレッタ)」やニュアンスヘアカラーブランド「THROW(スロウ)」で知られるヘアケアの総合メーカーです。

1975年の創業以来、美容師とお客様に寄り添った製品提供を目指し、美容室向け専売品及び、一般市場向け製品の製造・販売を行っております。「人生に、新しい美の体験を」という理念のもと、2021年3月に旧社名である「株式会社ビューティーエクスペリエンス」から「株式会社 b - e x」へ社名を変更。ヘアのみならず、ビューティーのあらゆる領域へ。フィールドを広げ、美をワクワクする体験に変えていきます。

株式会社b-exは「WWF（世界自然保護基金）EARTH HOUR（アースアワー）2022」に賛同しています。
(<https://www.b-ex.inc/>)

■ O'right について

O'rightは、2001年に設立された台湾の美容メーカーです。“グリーン革命”(よりよい未来のために世界を変えること)を明確な企業ミッションとし、環境にやさしい製品開発を進めています。野菜や果物から抽出したデンプンを原料にした100%生分解性がある“Tree in the bottle”を打ち出すなど、“グリーン革命”につながる“グリーンイノベーション”を継続的、かつ徹底的に行なっています。

2011年には国家標準化機構-イギリスBSIの認証のもとで、世界初のゼロカーボンシャンプーを発表したのを皮切りに、現在では全製品165種においてゼロカーボンを達成しています。また、原料、設計、生産、運送、消費からリサイクルにいたる細部にまで環境配慮を徹底しており、現在までに世界中で100以上もの賞を受賞しています。

“グリーン革命”を推進しながら、美容業界内で環境保全についてリードし、独自素材を活かした製品開発力を強みとしている企業です。2020年に日本に進出し、マルイ有楽町に直営店をオープン。2021年9月に株式会社 b - e x との資本業務提携を期にヘアサロン向けに拡大展開しています。

(<https://oright-jp.com/>)

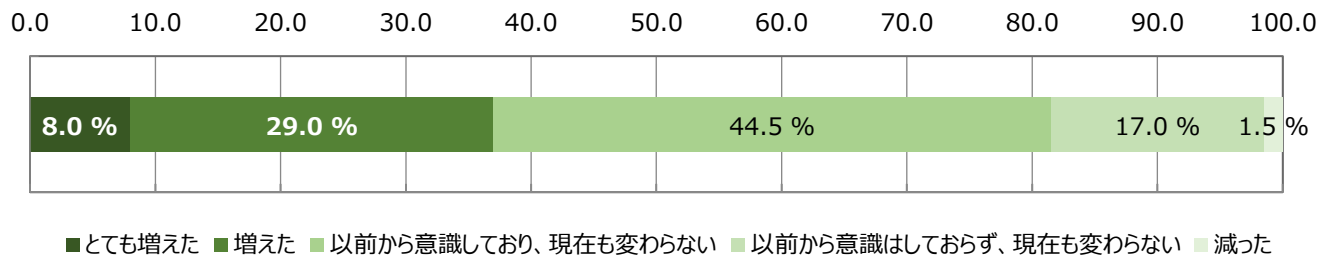
【本件についてのお問い合わせ先】

株式会社 b - e x 広報（担当：篠田・田中）

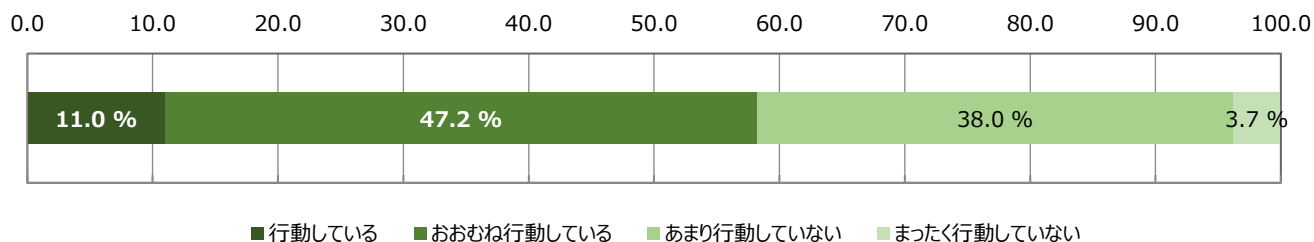
TEL:: 03-6757-4089(直通) FAX: 03-5491-7090 E-mail: press@b-experience.com

【ご参考】 b-e x「環境意識に関する調査」2022年1月（10～60代 美容師 200名）

①あなたは、環境問題について意識することが増えましたか。



②環境問題について意識していると回答した方。サロンワークにおいて環境のために実際になにか行動をしていますか。



③環境のために行動していないと回答した方、行動していない理由を教えてください

